

バストス週報

No. 101
1952年1月1日
発行

登録名義人 森幸一
発行所 バストス農産会
C.P.P. 006

購読料 年六十円
外部七十円
C.P.P. ニニ番
廣告取扱 隆寛作市
編輯所 高田商店内

バストスの農村人に訴ふ

バストス産組事務
中島善治

(二)

バストス人は一度の蹉跌に庇古重れるとは信じられぬ。過去があつて現在があり又久遠の未来がある。明日の世に譲る贈物として是非再建に情熱を傾けつ可きだと思ふ。

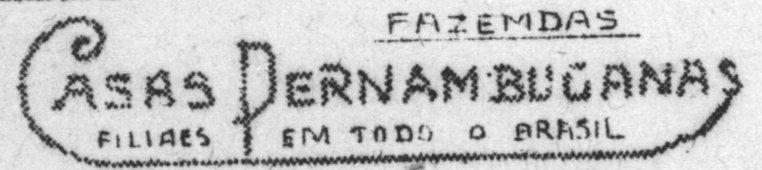
今組合としては外債内債問題の決済方法にあらゆる面を検討し、針刺しと迫めていゝ。又評議員會も努めて募集を促し又理事側として寸暇をさいて努め、山に入り農村の声を聞く会といふような果しと作り忌憚なき農村の意見をも聞き度いと思つてゐる。これは私の老婆心であり考へ違ひも知れぬが、もし誤謬の点は深謝する次第だが組合と組合員とは当然一体のものである筈のものが何れもその間に一線の横ばるものがあると感ずるのである。

組合の基に就いて改めて欲しい点があれば遠慮なく自由に申出て頂きたい。しかし毎日各人が事務所に押しかけて来られても、いかに自由といへ、混雑する故、秩序といふ点も考慮されて出来る丈評議員、区長、組長等を通じて頂ければ誠に結構である。選出された私達理事は組合員の中から選出された純然たるバストス人の公僕に外ならない。即ちお互いの話でも石橋を叩く。この点は斯う改められたら百姓といふも都合が良いと思ふとか、中島このセツンこの点があつたとか、そこに組合と組合員との間に和やかなる空気を作り上げたいと思つてゐる。

終戦後バストス産業組合の事業の経済的弱体化に伴ふ事業不振と人心の動搖の爲め、農産物の取扱ひに支障を

来した結果その不便と中興市場にあるコチア、ジュケリー、パンネイランテの諸組合がその取扱ひの出張所を当地に設ける事になったが今後いつ迄も他人様の世話に有るのとはどうかと思はれる。他の組合が換す可きはバストス農村人によつて設立されてゐない他の地方の農村人によつて結成されてゐる組合が現に立派に事業を遂行してゐるし又、チエラ産業組合は一足早く興生の道と遂進してゐる一事實である。五年前再建と堪ったあの情熱と意氣に倚りがなかつたら、バストスの組合再建と一朝の其々に終つてはなうぬし、再建出来ないといふこと付バストス人の恥である。

私は右の各組合の当地設置に就いて異議や物申す氣は毛頭ないし寧ろ當バストスの経済的不況の折よく今日迄、
(次頁へ……)



Pastos

カーザス ペルナンブカーナス

はセツリオ ウェルガス街
のエスキナに

新装をこらして

移轉いたしました。

新入荷……反物の山

いろいろ百花綯爛……

所へ申出かけの御節は是非とも

申さより下さい。皆さまの

カーザス ペルナンブカーナス え!

便宜を計っていた点感謝すべきだと思ふ。幸いにして上訖考組合の当地出張所の主任の方々は何れもバストス人でありバストスと想ふバストスと愛する点に於て私などの遠く及ばぬ情熱家である。こゝふ点に期待がかけられる。

新春を迎え心機改まる秋、再建の望も一朝の其ノに終りては存らぬ。この言語を及ぼして年頭の挨拶とする。(完)

皆さん
綿の御用意を

決して早いことではありません、一日も御早く御用命下さい。

- 一 古綿の打直し
- 一 新綿製造
- 一 絹わた製作

養蚕家各位へ

毛羽買入ります
御もち下さい

佐迫製綿所
(ゼッリスバルガス街 上の方)

のバストス産業組合臨時總會
バストス産業組合に於ては来る一月廿一日午前九時より産業會館に於て臨時總會を開催する由。

議事は内外債整理に関する件として、組合浮沈にも関する重大な事項であるから組合員諸氏は是非出席して協力され度いものである。前記九時述に定員に充たぬ時は十時にオニ石集まりの人員の如何を問はず同會することとする由。

東野 曉 風
細き月電線に低くかゝりいて
ガルフの葉は朝をそよぶる

の聯青・愛農同志会主催
農産物品評會
入賞発表
手藝展覧會

昨年六月十七、八、九日バストス入植祭に行はれた表題入賞者八月頃發表の苦であつたが都合上延期していたものである。

- の鶏卵支部
- 一位 淡江秀一(白老) ウスカツタ區
 - 二位 上山 明 全
 - 三位 三沢武男 フロケレツコ區
 - 一位 岩原初枝(白川) ウニオン區
 - 二位 吉野三吉 フロリア區
- の米支部
- 一位 小田頭 伸 アルト 区
 - 二位 桑原國雄 フロリア區
 - 三位 池田佐次郎 ウニオン區
 - 優等 玉田三 区
 - 全 坪井 猛 ウニオン區
 - 全 原義清 フロリア區
 - 全 請家平二 アルト 区
- 優等 益園 武 フロリア區
- 以下次頁

當世諺也流

川柳「眼」 五十題 その一

高井 四九

人形を控いて人形みたよる眼
義眼とは見えよ天晴美人なり
かか合つた眼と眼 以未の物思ひ
逞しと眼玉で国と背負つて立ち
寝不足の眼を光らせて 工場長
眼に水の言はせ 監督一巡し
柔かな言葉と別な輝やく眼
顔色を見て物申す卑劣な眼
万巻の蔵書の中の近眼鏡
俺の眼が狂はなかつた娘婿

○バスターズは日ハナシ「マシタインボウ」
 事件の記事に関する抗議

長らく連載したバスターズ昔話し物語り中
 第九十六号にマシタインボウ事件をのせた
 事に関し当番者の一人たる霜出詩二氏から
 抗議が出た。即ち、あの記事によると、事
 情を知らぬ人から見ると、いかにも有川、霜出
 両人は、手のつかぬ暴カ団で事務所からマシ
 タインボウを盗る位だから、悪いこともやっ
 たらうと思はれる所もある。

とういふいきさつで、あの標名ことが起つ
 たかと思つて見度いと霜出氏は二十年前
 前の当時を回想する材料として、当時作
 製した「声明書」を持参した。その紙の
 色も茶色に老化した晒紙版刷である
 仕事の馴べと覇氣の溢れた文面である
 が所々破れで判読も困難な所があるの
 で要所々々を原文により、他は霜出氏の
 説明により、て当時のいきさつを述べこ
 ととする。

夏草やつはものどもが夢のあと
 今、バスターズの草深き原野に立って、入植初
 の事を回想するのは、全く夢のようである。
 蕉の句の味も、やや別るような氣がする。

「有川、霜出」両氏は鹿児島県移住組合
 員で一九二九年バスターズに入植した草介移住
 である。日本に居た時千七百円程でバスターズの
 土地を二十五町歩買つて地主として来りこん
 で来た丹那原であった。「声明書」にはこ
 の間のこと「一九二九年入植以来ここに永
 住の地と定め墳墓の場所とを定め急がず
 あせらず経営し生活して来たバスターズ移
 住を退去した」それは一九三四年九月廿四日
 及び廿五日の両日に亘り兩人別々に事務所に
 申し出て同日廿九日に退去したのである。

「速刻退去でしたか日限に余裕があつたか」
 「なるべく早く出てくれといふ程度でした」
 「ハイ承知しましたと言つたのか」

○柿三郎

- 一位 豊田正次
- 二位 星島 実
- 三位 天野貞一
- 優秀 原義晴
- 全 藤本 隆
- 全 水野清一

○藤之部

- 一位 西 忠
- 二位 石田六一
- 三位 吉野衛作
- 四位 須藤信一
- 優秀 吉田孝楠

○バスターズ之部

- 一位 藤下光次
- 二位 上島惣太郎
- 三位 三浦 明

○フェジヨン之部

- 一位 内島場七郎
- 一位 入江 均
- 一位 トマト之部

- 一位 河村国武
- 一位 上島惣太郎

○シヨウガ

- 一位 古賀一敏

○ワモン

- 優秀 古賀弘一

○マンジヨウカ

- 優秀 木内 篤

- 優秀 古賀一敏

賞品寄贈者芳名

コチア産組より 鷲卯及著の入賞者
 ハメタル

アラ拓製糸より 高の入賞者へ奨励
 金

バスターズ自治会及バスターズ産組より 手芸展覧
 會受賞者へ賞品

(以下次号)

「馬鹿さいふな、俺は出んと言った、退去せしめらる理由がないからだ、畑中は、どうか何にも言はずにあさくれといふ。出んといつたりどうすると聞き直したり、やむを得んから、カニオンが移住地帰までお送りするといふた。リオネベイシの向ふ側あたり、放り出すつもりだったらう」

退去命令については次の様に記してある。「日本内地では裁判官は罪人に対し犯罪の事実と判決の理由を明示して服役せしむるものである。然るに畑中氏は罪人でもない私達に対して理由を明示せず退去を強要し若し私等が退去せずば暴力を以て退去せしむるといった。是れは支配人として正しいやり方であるか。明示するこゝとが出来ない様な理由で退去せしむるといふことは支配人として徳當なやり方であるか、支配人たるものは自ら管理規定を遵守しなればなりん立場にあるものと思ふが管理規定に抵触せざる者に対して退去命令を發すると言ふことは支配人自身が管理規定を犯すものであるといはねばならぬ。管理規定を破壊するものこそ第一に退去せしむる必要があるではないか。此の点を全入植者は如何に考へ又如何に感ぜらるるか」

「こゝにいふ書き振りがから有川、霜出両氏はこの抜打の退去命令によほど腹を打たされたので悪いこともせず管理規定にも抵触するまい各々を退去せしむるとは何事か理由を云つて此と詰めよつたが、のれ人にはね押しだった。」

「よいぬしのある迄に何か予感があったか」「いや全然何も感じて無かつた。吾々は景の移住組合員だ、それを吾々の使用人たる事務所の支配人如きに退去命令など申し渡さずれたまるか、といふ当時の考へがあつたが、何を馬鹿なと頭から受けつけようとは、せんわい。」

「移住組合は他の営利會社と異り組合

自体に余分の利益を得るの必要なく専ら組合員の利益を主体とすべきものであることは今更言ふ迄もない。即ち組合は組合員の福利増進を計ることが本體であり使命でありねばならぬと信するものである。然るにバスター移住地支配人畑中仙次郎氏は一に陰謀家のカイライとなり、全然組合の精神を忘却し「土地代を回収するのが私の使命である、組合員がいかにか貧窮に陥らうと、入植者が餓死しようと思はれは私には何等の關係はない」と放棄するなど常識を以て判断することのできないものがある。又之を抜の採れる土地代價格土地等級査定の不認、自治に対する不理解など私達の信念と異なるものが存するので是等不合理、不正なる事情を是正すべくこの辺まで読んでくると、霜出有川村事務所の關係が少しづつ判りかけてくる(以下次号)

タツタ 譲る

- 一 シネマ館の前(アホマルバウエ街)
 - 一 家屋道路間オイトルの空地あり
 - 一 商談は、いかようにも便宜御相談に應じます故左記へ訪ね下さい
- カレシテテ バルガス街
アツソギ O.K 河 戸 道

求 人

- 一 将来商業を志す青年数名
 - 一 年齡十七歳より廿五歳迄
 - 一 保証人を要す
 - 一 高給を拂ひ勉學の時間と不御希望の方はなるべく早く左記へ
- パン市 アイエー街 六二三
カー坊 ウニベルナール
土 田

○ダンスは是非か (五)

バスター A・D・B の話

数年前華々しく發足した A・D・B 俱樂部は中期の如く運営が出来なくなつて今は当初の面影なく、むしろ全く形の替つた存在となつてゐるが運動部といふよりも寧ろ野球部が主体となつて經營して居る由である。會長奥田耕、副會長池田ルイス、総務東ゴロウといふ顔ぶれで太郎田樹氏が顧問格、他に二人程評議員があり、太郎田氏の野球部を寺り扱ふとする熱意が様々な世評に憶せず敢然として鉄壁の陣營と形造つて居るのである。一日記者はダンスに對する意見を求めに太郎田商店を訪ねた。又廣告でも取りに未だのではないかと睨むじいに見えたのは、こちらの進取のせいだった。

問「A・D・Bでダンスをやつてゐる相ですが、この様な組織で？」

答「A・D・Bには社交部があつて、その方の係りが束、その外に松本、小野等の補佐で、まあ此の人等が監督役です。」

問「場所は？」

答「田中さんの二階サロウ。A・D・Bで一車と少し以前貸借契約してゐる。毎週土曜日にはバイリーの稽古をやつてゐます。ピンポン台もあるし、暮や将棋も置くことになつてゐる。」

問「會員から會費を徴集してゐますか？」

答「ウエストコート取つてゐないし、同「では家賃や其他の經費の所は？」

答「A・D・Bの本部の方を東利徳さんに貸してゐる。その方から収入が賂つてゐる。」

問「バイリーの時の規定とか何かありますか？」

答「別にそんなものは無い。監督が三人いるので、おかしな者は入場させないし、登壇の方には毎月バルバを拂つてゐるし、極めてスムーズにいてゐます。時間十二時過ぎれば、十二時半には閉鎖するようになつてゐる。同「世間でもやかく言つたことがある相だが？」

急募

男女事務員 並に

事務見習 二名

将来商工業に進む為めに

常識として商工業事務員

に於て玉がらとする人と請ふ

本人又は保証人面談

バスター商業事務所

浦又小 西まで

カニニカニ

ミボリー 49 年型 九寸積ロード

ツツカラ、格安にて至急譲らる

値段、交換方法は、御相談に任せ

バスター商業事務所

浦

與子生を求む

バスターのジオジオ四年生か三年生の

學生一名(世話したい方がありません)

仕事は何もさせませんが住込の上来る

ことが條件です 詳細は週報社が

に御守ね下さい

前山商店の品は

何によりも安い、断然安い、

といふのは、ほんとうの事ですよ

棉作者に提供する

アルセニアット テ シュンボ

インポー

の如きは全く原價を割つてゐます

在庫も日々僅少、早い勝

前山商店

答「そんな話もきいておます。しかしそれはその人が悪いのであって全体とは何の拘りもない話。そしてもう過去のことです」

河「田中さんの二階がクルーアの遊戯場になつてゐるのに産業會館なども使用するのはいかがですか？」

答「A・D・B俱樂部自体では、そのようなことは無いが他の連中が便宜上A・D・Bの名義を借用する事があつたのでせう」

河「それによつてバスターに遊びにくる人達の内にバスターのバスターについての印象を歪曲して傳へるような事はありませんか？」

答「さういふ事は知りません」

バイレー「回答のインクビューはこんなところで終つた。A・D・Bの責任者からの説明では、一点の非の打ちどころもなく、立派な指導振りである。預くはバイレーの監督を一部役員といへば五月年に委するのみでなく、クルーアの方から父兄によびかけ

て娘達たちには必ず母親なり内身の者が同伴するようにしたいものである。カードであれば大い丈婦で出席するから問題は無いが一番保護を要するのは未婚の子女である。記者の知る限りでは母親が娘の伴をしてバイレーに行くのは、ほんの曉の星の如く少く、無関心に放置されてゐる如く見ゆる娘たちが多いのではないかと思ふ。欧米人の如く何百年に亘る男女交際の社会的訓練の出来てゐる國々でさへも、所謂有識階級では社交ダンスすらも母親などの監視のもとでなければ許されないと云ふことである

自由」を踏きちがえてはいけ無い。おそれく此の様な文章の如きもナンピウ娘は読まないであらう。娘と守るものは彼女達の親でなくて誰であらうか。

ダンスは非かき通して機嫌を悪くした青年も婦人も娘もあるであらう。何ほど機嫌をわるくしても、さしつかへない。貝取の士は、さういふ運境で踊ることを

新り且つ頼つてゐるのである。此の、にがい文章が、きつかけとなつてA・D・Bの役員諸氏は一層自重されるであらうし、一般ダンスを樂しむ青年男女も後ろ指をさされるい覚悟を一段と引き締められるであらう。

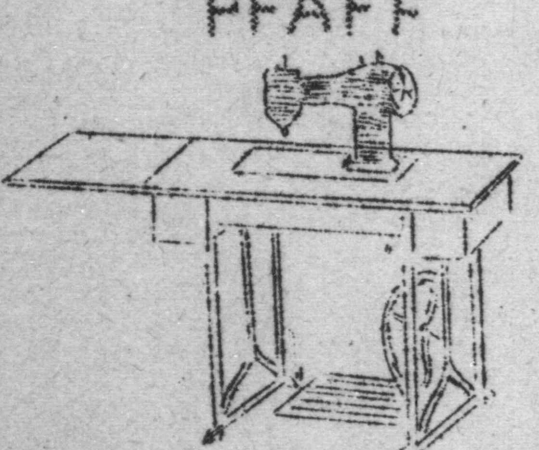
生活運境の相違といへば農村(農耕地)にいる男女青年は毎日の労働に夜ともなれば疲れて雜誌を見る間にも睡魔に襲はれてダンスどころのさわぎでもない。さういふ人達も多いためである。

月四回のプリシカが多いとか少いか立ち入ったことは言はないが自省の深い生活は正しい歩み方ではないことを忠告し本稿を終る。

(筆者 織田春音)

急
土地賣却
一、場所 ノーボエスベランサ (一〇七) 地区
一、面積 二十アルケレス (ベンホルマード)
一、系園 三アルケル半
一、バスト 三アルケル半 (セルカード)
一、果樹 蜜柑、ペラ、パイ、三百本
一、住宅 十二米×七米 (炊事場ハ別ニ有メ付屬)
井戸、風呂場、家つゞきに主便

一、養蚕室 五十米×六米
一、租蚕室、馬車小屋、倉庫 完備
前記、如ク完備セル農耕地ヲ他へ転任、為メ思ヒカッテ格安ニ譲リマス
木村 下滿 次

ミシンの王者
PFAFF

パールミシン 代理 店
前田 美 服 店